▶(高負)YK42 工区(1-2)
YK43 工区(B(1)・D(1)連結路)
上部・橋脚工事

所 在 地：神奈川県横浜市
形　　式：5径間連続鋼床版箱桁立体ラーメン橋2連，他3橋
橋　　長：336.0 m（上り線），340.0 m（下り線）
支 間 割：53.5+69.5+68.5+77.5+63.4 m（上り線）
53.5+70.0+69.5+79.5+66.9 m（下り線）
有効幅員：9.9 ～ 17.9 m（上り線），10.3 ～ 17.3 m（下り線）
鋼　　重：10 861 t（当社製作分 4 280 t）
発 注 先：首都高速道路㈱
完　　工：2016 年9月
特　　色：本工事は，横浜環状北線と首都高速横羽線および大黒線が接続する生麦 JCT における，本線上り線･下り線，B･D 連結路，横浜市道岸谷生麦線の鋼橋架設工事である。産業道路上に位置する PN 本 13 ～ PN 本 14 間の 1 径間分は，産業道路を夜間交通規制し，大ブロック架設を行った。

◀ YK43 工区(A・C 連結路)上部・橋脚工事

所 在 地：神奈川県横浜市
形　　式：5 径間連続非合成箱桁橋
4 径間連続鋼床版箱桁橋，他3橋
既設桁拡幅 2 連，鋼製橋脚 5 基
橋　　長：266.4 m，260.3 m
支 間 割：67.9+45.1+49.1+49.5+47.4 m
65.3+39.3+84.5+68.3 m
有効幅員：5.25 ～ 6.50 m，5.25 ～ 6.00 m
鋼　　重：4 600 t（当社製作分 1 800 t）
発 注 先：首都高速道路㈱
完　　工：2016 年6月
特　　色：本工事は，生麦 JCT に接続される横浜北線の連結路ランプ橋および鋼製橋脚の製作・架設工事である。産業道路および大黒線ランプと複雑に交差する難易度の高い架設工事であるが，多軸式自走台車上の一夜ベントの利用等の工夫により，規制回数を低減しつつ安全に架設を行った。（本文参照）

▶ YK11 工区(1)・(3)上部・橋脚工事

所 在 地：神奈川県横浜市
形　　式：4 径間連続鋼床版箱桁立体ラーメン橋2連，他3橋
橋　　長：303.2 m（A ランプ）
296.8 m（B ランプ）
支 間 割：64.7 m+69.0 m+78.5 m+86.7 m（A ランプ）
67.6 m+66.5 m+71.3 m+87.1 m（B ランプ）
有効幅員：6.0 m ～ 11.3 m
鋼　　重：10 304 t（当社製作分 4 146 t）
発 注 先：首都高速道路㈱
完　　工：2016 年1月
特　　色：本橋は，首都高速横浜環状北線のうち港北 JCT 内に位置するランプ橋で，3 基のラケット式鋼製脚からなる 2 層の立体ラーメン構造である。架設ステップの変更により大ブロック架設部の併合スパンが短くなる問題が生じたが，ダブルツインジャッキを使用した引き込み装置を用いて，鋼製脚に予変形を与えることで当初設計のキャンバーを再現した。（本文参照）

▶富士川（ふじがわ）橋

所 在 地：山梨県西八代郡～南巨摩郡
形　　式：3径間連続合成Ｉ桁橋，9径間連続合成細幅箱桁橋
橋　　長：（3径間）152.5 m，（9径間）670.5 m
支 間 割：（3径間）50.0+60.0+40.6 m
（9径間）65.1+84.0+4@73.0+76.5+81.5+69.1 m
有効幅員：9.510 m
鋼　　重：2 550 t（当社製作分 2 550 t）
発 注 先：中日本高速道路㈱
完　　工：2016 年9月
特　　色：本工事は，八之尻トンネルと増穂パーキングエリア間に位置する橋長 823m の上部工工事である。送り出し総延長約 400m の曲線桁を安全かつ精度よくスピーディに施工完了させるため，送り出し桁上への小型クレーンの配置など，様々な工夫を行っている。（本文参照）

◀高州（たかす）高架橋

所 在 地：埼玉県三郷市
形　　式：8径間・5径間連続非合成Ｉ桁橋，他１橋
橋　　長：（8径間）371 m （5径間）249 m
支 間 割：（8径間）42.0+44.0+42.0+56.0+57.0+3@43.0 m
（5径間）40.0+57.5+3@50.0 m
有効幅員：21.120 m
鋼　　重：5 860 t （当社製作分 2 350 t）
発 注 先：東日本高速道路㈱
完　　工：2016 年7月
特　　色：本橋は，東京外環自動車道の三郷南 IC ～（仮称）松戸 IC 間の連続高架区間に架かる，場所打ちPC床版を有する連続ラーメン非合成桁橋である。本橋の橋脚にはコンクリート柱と鋼横梁を一体化した複合構造を採用し，主桁と横梁を剛結構造とすることで，耐震性の向上を図るとともに，支承を省略して維持管理性にも配慮した構造となっている。（本文参照）

▶上成（かみなり）Bv・受取川（うけとりがわ）B

所 在 地：石川県白山市
形　　式：単純ＳＲＣ箱桁橋
橋　　長：45.0 m（上成 Bv），39.0 m（受取川 B）
支 間 割：44.0 m（上成 Bv），38.0 m（受取川 B）
有効幅員：6.4 m（上成 Bv），6.4 m（受取川 B）
鋼　　重：191 t（当社製作分 191 t）
発 注 先：（独）鉄道建設・運輸施設整備支援機構
施　　工：前田建設・日本海建設共同企業体
完　　工：2016 年 10 月
特　　色：本橋は，北陸新幹線白山車両基地入出区線の下り線に位置する鉄道橋である。４主桁であるが下フランジは１枚のため，開断面箱桁のような構造で，箱内にはコンクリートが充填される SRC 箱桁である。外桁ウェブおよび下フランジは現場溶接継手で，上フランジと中桁ウェブは高力ボルト継手となる併用継手を採用している。製作キャンバーの決定にあたっては，溶接施工試験を実施し，試験により得られた溶接収縮量を溶接キャンバーに反映させた。

◀万場大橋（まんば）

所 在 地：岐阜県郡上市
形　　式：2径間連続非合成箱桁橋
橋　　長：131.5 m
支 間 割：70.0+58.7 m
有効幅員：9.0 ～ 12.0 m（車道），2.0 m（歩道）
鋼　　重：687 t（当社製作分 687 t）
発 注 先：国土交通省　中部地方整備局
完　　工：2015 年5月
特　　色：本橋は，岐阜県岐阜市と富山県高岡市を結ぶ総延長約210km の国道 156 号の一部である。中間支点の斜角60°，平面線形 R=270 ～ A=120m の平面線形を有している。架橋地点では全径間に渡り長良川と交差しており，大型クレーンおよびベントの設置が困難なことから，架設工法は手延べ式送り出し工法を採用している。難易度の高い架設工法でありながら安全に施工したことや地元小学生を対象とした工場，現場見学会を実施したことが評価され，地域貢献事務所長表彰を頂いた。

▶東海環状東員水管橋（とうかいかんじょうとういん）

所 在 地：三重県員弁郡
形　　式：2径間・4径間連続逆三角ワーレントラス補剛水管橋，他3橋
橋　　長：58.5 m（水管橋1），196.8 m（水管橋2）
支 間 割：14.8+41.9 m（水管橋1）
21.0+74.4+87.4+11.0 m（水管橋2）
鋼　　重：195 t（当社製作分 195 t）
発 注 先：国土交通省　中部地方整備局
完　　工：2016 年1月
特　　色：東員 IC の道路排水は近隣河川に直接排水させると隣接河川の流下能力を超えるため，一旦，調整池に雨水等を溜める必要がある。本橋は，東員 IC の道路排水を調整池まで導水するための水管橋である。支間長に応じてパイプビーム形式，π形補剛形式，逆三角ワーレントラス補剛形式と様々な形式を採用している。トラス形式は昼夜2度に亘り，500t トラッククレーン相吊りで架設を行った。

▶新居橋（にい）

所 在 地：三重県伊賀市
形　　式：5径間連続非合成 I 桁橋
橋　　長：241.0 m
支 間 割：41.8+3@52.0+41.8 m
有効幅員：5.0 ～ 6.0 m
鋼　　重：308 t（当社製作分 308 t）
発 注 先：国土交通省　近畿地方整備局
完　　工：2016 年3月
特　　色：本橋は，上野遊水地整備事業の一環として県道信楽上野線の旧新居橋の架替に伴う新設橋である。2主桁の従来 I 桁構造を有し，防食は耐候性鋼材（裸仕様）を採用している。大型クレーンの採用により架設回数を低減することで工期短縮を図り，建設業で活躍する女性技術者・技能者を対象とした「建設こまち橋梁架設見学会」を開催するなど，様々な取り組みが評価され，事務所長表彰を頂いた。

▶新北上大橋（しんきたかみおおはし）橋梁災害復旧工事（その2）

所 在 地：宮城県石巻市
形　　式：単純下路トラス橋2連（新設部）
　　2＋3径間連続下路トラス橋（補修部）
橋　　長：565.7 m
支 間 割：2@76.3（新設部），2@76.9+3@84.8 m（補修部）
有効幅員：6.5 m（車道部），2.0 m（歩道部）
鋼　　重：595 t（当社製作分 595 t）
発 注 先：宮城県
完　　工：2016 年9月
特　　色：新北上大橋は，1976 年に供用開始した7径間の下路トラス橋であるが，東日本大震災の津波により左岸の2径間が流失し，残りの5径間も歩道床版の崩落やトラス部材の損傷が生じた。流失した2径間を新設で床版を含むトラス橋の横取り架設を行い，残存した5径間は損傷部の部材取替などを実施した。（本文参照，動画収録）

◀花園（はなぞの）インター橋

所 在 地：熊本県熊本市
形　　式：2径間連続非合成箱桁橋
橋　　長：109.8 m
支 間 割：53.7+53.7 m
有効幅員：14.0 m
鋼　　重：734 t（当社製作分 734 t）
発 注 先：熊本市
完　　工：2016 年6月
特　　色：本橋は，熊本西環状道路に繋がる花園インター線の一部である。斜角 51°と直交格子配置の横桁による荷重分配効果の影響で各主桁間にキャンバー差が生じるため，プレツイスト工法により桁製作を行った。架設では架設ステップごとに主桁の形状管理を行い，精度管理に留意した。（本文参照）

▶坂東（ばんどう）高架橋

所 在 地：富山県射水市
形　　式：単純非合成箱桁橋（上下線）
橋　　長：52.0 m（上り線），53.8 m（下り線）
支 間 割：50.8 m（上り線），52.6 m（下り線）
有効幅員：9.5 m（上り線），9.5 m（下り線）
鋼　　重：414 t（当社製作分 414 t）
発 注 先：国土交通省　北陸地方整備局
完　　工：2015 年 11 月
特　　色：本橋は，一般国道8号のうち富山高岡バイパスに架かる橋梁で，慢性的な渋滞解消と交通の安全確保を目的に立体化事業が進められた。両端の1ブロックは，ベント支保工で昼間に架設し，中央の3ブロックは，夜間車線規制を伴いながら地組一括架設を行った。

▶朝明川橋（あさけがわ）

所 在 地：三重県四日市市～三重郡
形　　式：鋼・PC 混合３径間連続アーチ補剛箱桁橋
橋　　長：325.0 m
支 間 割：58.8 m + 225.0 m + 38.6 m
有効幅員：9.8 m + 9.8 m
鋼　　重：5 610 t（当社製作分 2 027 t）
発 注 先：中日本高速道路㈱
完　　工：2016 年7月
特　　色：本橋は，新名神高速道路の新四日市 JCT ～菰野 IC 間に建設された鋼・PC 混合形式の３径間連続アーチ橋である。設計・施工には川田工業㈱と川田建設㈱が参画し，国道上の鋼アーチ送り出し架設，鋼・コンクリート接合部の FEM 解析や打設試験などを行った。（本文参照）

◀大富希望の橋（おおとみきぼう）

所 在 地：福島県相馬郡新地町
形　　式：単純プレビーム合成桁橋
橋　　長：41.1 m
支 間 割：40.1 m
有効幅員：9.2 m
鋼　　重：154 t
発 注 先：福島県相馬郡新地町
完　　工：2016 年5月
特　　色：本橋は，JR 常磐線と立体交差する跨線橋である。JR 常磐線が復興工事中のため，トラッククレーンとベント併用による架設を行った。主桁･床版横桁･壁高欄に使用する全てのコンクリートには剥落防止対策として短繊維材を混入し，品質向上を図った。

◀東道ノ上こ道橋，南平こ道橋

所 在 地：青森県上北郡
【東道ノ上】
形　　式：PC ポータルラーメン橋
橋　　長：43.8 m
支 間 割：38.4 m
有効幅員：7.0 m
【南平】
形　　式：PC 斜材付π型ラーメン橋
橋　　長：65.7 m
支 間 割：13.4 + 38.9 + 13.4 m
有効幅員：4.0 m
発 注 先：国土交通省　東北地方整備局
完　　工：2015 年 10 月
特　　色：本橋は，一般国道 45 号上北天間林道路を跨ぐ町道の付替工事であり，20 m 近い掘削深部での場所打杭の施工を含む上下部一式工事として発注された。主桁には膨張剤，主桁および垂直材の一部には短繊維を混入したコンクリートを使用し，品質確保に努めた。

▶下島大橋

所 在 地：富山県南砺市
形　　式：PC 3径間連続箱桁橋
橋　　長：198.0 m
支 間 割：52.1 + 92.0 + 52.1 m
有効幅員：5.0 m
発 注 先：国土交通省　北陸地方整備局
完　　工：2015 年 10 月
特　　色：本橋は，富山県南砺市に建設中の利賀ダムが完成した後に湛水する村道下村線の付け替え橋梁である。豪雪地帯に位置しており冬季休止期間があることから綿密な計画と工程管理を要した。また，計画洪水位を確保するために高橋脚であり，片持ち架設工法により架設した。

◀大生郷橋

所 在 地：茨城県常総市
形　　式：PC 単純コンポ橋
橋　　長：36.0 m
支 間 割：35.0 m
有効幅員：10.8 m
発 注 先：国土交通省　関東地方整備局
完　　工：2015 年 12 月
特　　色：本橋は，大生郷工業団地へのアクセス道路（市道 2088 号線）を跨ぐ首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の上り線部分の橋梁である。主桁の架設は，交通影響への配慮のため夜間に市道の全面通行止めを行い，400 t 吊りトラッククレーンの相吊りにて行った。

▶興津川橋（おきつがわ）

所 在 地：静岡県静岡市
形　　式：PC 5径間連続ラーメン波形鋼板ウェブ箱桁橋
橋　　長：459.7 m
支 間 割：64.2 + 144.0 + 107.0 + 80.0 + 61.2 m
有効幅員：9.2 m
発 注 先：中日本高速道路㈱
完　　工：2016年1月
特　　色：本橋は，中部横断自動車道興津川渡河部に位置し，A1 ～ P3 間が波形鋼板ウェブ，P3 ～ A2 間がコンクリートウェブを有する混合構造の橋梁である。新東名高速道路と中央自動車道が接続され，太平洋臨海地域と山梨県山岳地域の連携・交流の促進及び地域活性化が期待されている。（本文参照）

◀小田第三高架橋（おだ）

所 在 地：島根県出雲市
形　　式：PC 4径間連結コンポ橋
橋　　長：161.0 m
支 間 割：39.25 + 2@40.0 + 40.25 m
有効幅員：9.26 m
発 注 先：国土交通省　中国地方整備局
完　　工：2016年3月
特　　色：本橋は，国道9号線のバイパス，多岐・朝山道路に属する高架橋である。平面線形 R=700 m，縦断勾配 3.0 %，横断勾配 4.0 % という線形条件の下，九州工場にて製作した PCa セグメント桁を現場にて組立・緊張し，架設桁架設工法にて施工した。

▶東海環状大安高架橋南（とうかいかんじょうだいあん）

所 在 地：三重県いなべ市
形　　式：PC 6径間連結コンポ橋
橋　　長：210.0 m
支 間 割：6@35.0 m
有効幅員：10.8 m
発 注 先：国土交通省　中部地方整備局
完　　工：2016年3月
特　　色：東海環状自動車道は，愛知・岐阜・三重の3県の諸都市を環状に連結すると共に，東名・名神高速道路，中央自動車道，東海北陸自動車道や新東名・新名神高速道路などの高速自動車道にアクセスし，広域的なネットワークを形成する高規格幹線道路である。

◀三田坂（みたさか）バイパス６号橋

所 在 地：三重県伊賀上野市
形　　式：PC 単純コンポ橋
橋　　長：25.0 m
支 間 割：24.2 m
有効幅員：7.5 m
発 注 先：三重県
完　　工：2016 年6月
特　　色：古くは忍者の伊賀流と甲賀流を隔てる峠の一つであった伊賀市諏訪から三田地区の道は、狭小かつ急坂で急カーブの多い国道 422 号である。走りやすい幹線道として三田坂バイパスは市民から大きな期待を寄せられおり、本橋も無事完成し期待に応えることができた。

◀和歌山（わかやま）JCT（ジャンクション）　D ランプ橋

所 在 地：和歌山県岩出市
形　　式：PC 6径間連続ラーメン箱桁橋
橋　　長：480.4 m
支 間 割：77.325 + 115.0 + 83.5 + 75.0 + 68.0 + 58.7 m
有効幅員：7.0 m
発 注 先：国土交通省　近畿地方整備局
完　　工：2016 年8月
特　　色：本橋は，平面線形 R=150 m を有し，最大支間 110 m，最大橋脚高 59 m を有するラーメン橋である。６径間の内，JR 阪和線を跨ぐ区間を含む４径間は移動作業車を用いた張出し架設を行い，阪和道と接続する側径間部の２径間は固定支保工により架設した。（本文参照）

▲西崎（にしざき）高架橋上部工（P1 ～ P7）工事

所 在 地：沖縄県糸満市
形　　式：PC 6径間連結プレテンションスラブ桁橋
橋　　長：131.0 m
支 間 割：20.6 + 4@21.0 + 20.6 m
有効幅員：15.3 m
発 注 先：沖縄総合事務局南部国道事務所
完　　工：2016 年7月
特　　色：本橋は国道 331 号（糸満道路）の一環工事である。厳しい環境の沖縄であることから耐塩害性に配慮した施工を行った。また，供用中の国道の中央部に施工箇所があるため，公衆災害に注意するとともに夜間桁架設時には防音壁を設置するなど騒音・振動対策も実施した。

▶青野滝川橋（あおの たきがわ）

所 在 地：岩手県宮古市
形　　式：PC 2径間連続ラーメン箱桁橋
橋　　長：101.0 m
支 間 割：2 @ 49.5 m
有効幅員：12.0 m
発 注 先：国土交通省　東北地方整備局
完　　工：2016 年 10 月
特　　色：本橋は，三陸沿岸道路「宮古田老道路」に位置し，平時には暮らしを支え，災害時には命を守るという機能を託された自動車専用道路である。品質向上にあたり，全生コンの単位水量測定と上床版の真空脱水を実施し，凍害・塩害に考慮した施工を進めた。

◀松原跨線橋（まつばら）

所 在 地：兵庫県龍野市
形　　式：PC 5径間連結プレテンション T 桁橋
橋　　長：118.8 m
支 間 割：23.95 + 24.0 + 2@22.1 + 21.95 m
有効幅員：11.0 m
発 注 先：兵庫県
完　　工：2016 年 10 月
特　　色：本橋は，主要県道網干龍野線の内，JR 松原跨線橋区間に位置する。主桁最大支間長は，プレテンション桁としては最長の 24 m を有し，架設は，トラッククレーン架設により行われた。支承には免震支承を用いて，耐震性の向上を図っている。

▶国道 251 号3号橋

所 在 地：長崎県雲仙市
形　　式：PC 4径間連続箱桁橋
橋　　長：186.0 m
支 間 割：53.8 + 46.0 + 46.0 + 37.8 m
有効幅員：11.8 m
発 注 先：長崎県
完　　工：2016 年 11 月
特　　色：本橋は島原半島で整備されている吾妻愛野バイパスの一環工事である。民家，架空線，供用中道路が近接しており公衆災害に注意し施工を行った。また，透明型枠の使用，中間支点横桁部パイプクーリングの実施等を行い，コンクリートの品質向上に努めた。

▶犀川（さいがわ）橋耐震補強

所 在 地：石川県金沢市
形　　式：鋼単純合成Ｉ桁橋７連（上り）
　　鋼単純合成Ｉ桁橋８連（下り）
橋　　長：254.1 m（上り）
　　306.7 m（下り）
支 間 割：4@37.1 + 31.1 + 2@34.8 m（上り）
　　4@44.1 + 19.8 + 3@34.8 m（下り）
発 注 先：国土交通省　北陸地方整備局
完　　工：2016 年３月
特　　色：本橋は，国道８号の犀川と伏見川に架かる橋梁で，1972 年に架橋され，設計荷重は，TL-20（１等橋）である。平成 24 年道路橋示方書に準拠した耐震補強の内，支承取替工および落橋防止システム工を行うものである。落橋防止装置および変位制限装置は，既設装置の再利用を基本としている。

◀橋梁補修工事 400 号福渡橋その１（道保防災）

所 在 地：栃木県那須塩原市
形　　式：鋼方杖ラーメン橋
橋　　長：44 m
支 間 割：43.2 m
鋼　　重：22.3 t（当社製作分 22.3 t）
発 注 先：栃木県
完　　工：2016 年６月
特　　色：福渡橋は，1977 年に川田工業㈱が建造した橋梁であり，約 40 年の歳月によって箱桁内の排水管が腐食して漏水が生じ，桁の腐食が進行していた。本工事では，桁の部分取替えや当て板補強を行って延命を図るとともに，落橋防止装置を新設して耐震性能を高めた。

▶ 302 号天白（てんぱく）川橋橋梁補強工事

所 在 地：愛知県名古屋市
施工範囲：下部工
発 注 先：国土交通省　中部地方整備局
完　　工：2016 年 10 月
特　　色：本橋は，国道 302 号が二級河川天白川水系天白川を横過する橋梁であり，1991 年に竣工して，現時点で約 24 年が経過している。本工事では，平成 14 年道路橋示方書の規定を満足する落橋防止システムの設置や橋脚巻立て施工による『耐震補強』を行った。

◀用宗（もちむね）高架橋補強工事

所 在 地：静岡県静岡市
形　　式：鋼２径間連続非合成Ｉ桁橋
橋　　長：72.2 m
支 間 割：40.4 + 31.0 m
発 注 先：中日本高速道路㈱
完　　工：2017 年２月
特　　色：本工事は，「高速道路リニューアルプロジェクト（大規模更新・修繕事業）」のパイロット工事として発注された。経年と重交通による橋梁疲労変状に対応するための床版取替工事であり，川田建設㈱で開発した「KK 合理化継手を用いたプレキャスト PC 床版」を NEXCO 中日本で初めて使用した。合成桁として照査を行い，応力超過を抑制した。

▶ MTR South Island Line, Lee Wing Street Ventilation Building　屋上緑化

所 在 地：香港 南區
発 注 先：MTR Corporation Limited（香港鉄路有限公司）
完　　工：2016 年4月
施工面積：356 m^2
特　　色：香港最大の鉄道会社である香港鉄路有限公司が建設した換気施設の屋上緑化工事である。マンションに囲まれた場所にあり，近隣住民からの評価も高い。

◀品川区立平塚橋特別養護老人ホーム　屋上・壁面緑化

所 在 地：東京都品川区
発 注 先：品川区
完　　工：2016 年5月
施工面積：353 m^2
特　　色：品川区の高齢者複合施設において実施した屋上及び壁面緑化工事である。植栽の一つとして採用したラベンダーは順調に生育し，季節ごとの表情を見せている。

▶日本梱包運輸倉庫㈱ 寄居出張所　太陽光発電工事

所 在 地：埼玉県大里郡
発 注 先：日本梱包運輸倉庫㈱
完　　工：2016 年3月
発電能力：786.72 kw
特　　色：日本梱包運輸倉庫㈱の「環境問題に積極的に取り組み，地球環境にやさしい企業を目指す」行動指針のもと，工場棟の屋根全面に設置した太陽光発電工事である。

◀富山大学　地中熱空調工事

所 在 地：富山県富山市
発 注 先：国立大学法人富山大学
完　　工：2015 年2月
空調能力：加熱能力 63 kW，冷房能力 56 kW
特　　色：富山大学五福キャンパス内の共同利用棟の空調に導入した，良質で豊富な地下水を利用する開放型地中熱ヒートポンプ・システムである。

▶住友不動産六本木グラントタワー（六本木三丁目東地区）

所 在 地：東京都港区
鋼　　重：41 250 t（当社製作分 10 400 t）
設計・監理：㈱日建設計
施　　工：大成・大林建設共同企業体
完　　工：2016 年5月
特　　色：本物件は東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅に隣接した約 2.7ha の広大な区域に，高さ約 230m の業務棟，住宅等，商業等の３施設で構成される大規模複合開発である。川田工業㈱製作となる業務棟の構造的特徴としては，29 階下部に免震装置を設置し，また制振壁を組み合わせることにより，高い耐震性を確保している。

◀TRI-SEVEN　ROPPONGI

所 在 地：東京都港区
鋼　　重：6 650 t（当社製作分 650 t）
設計・監理：㈱竹中工務店
施　　工：㈱竹中工務店
完　　工：2016 年3月
特　　色：TRI-SEVEN ROPPONGI は，東京ミッドタウンに隣接する 14 階建てオフィス商業複合ビルであり，2016 年３月に竣工。ファサードの３面が道路に面し，クリスタルが光を吸収・発散するイメージと，和のテイストを取り入れた２つのデザインを採用している。構造は中間免震構造であり，HBL385 材を使用され，製作から建方工事までを受注し，当社の技術が生かされている。

▶東京ガーデンテラス紀尾井町

所 在 地：東京都港区
鋼　　重：40 200 t（当社製作分　6 200 t）
設計・監理：㈱日建設計
施　　工：鹿島・鉄建・熊谷共同企業体
完　　工：2016 年７月下旬
特　　色：当物件は赤坂プリンスホテル跡地に建つ，オフィス，ホテル，住宅棟で構成された複合型施設である。
このうち当社はオフィス・ホテル・商業施設からなる紀尾井タワーの地下部よりホテル階下の構造切替部までの鉄骨工事に参画した。構造的には SA440 材等の高規格材を使用し，構造切替階はトラス構造で，鋼板壁や軸ブレース等が複雑に絡み合う，非常に難度の高い構造の建物である。
当社は本工事の納期に対応するため，栃木工場・四国工場・富山工場の３工場にて製作を行い，ご要望に応える事ができました。

▶中之島フェスティバルタワー・ウエスト

所 在 地：大阪府大阪市
鋼　　重：31 000 t（当社製作分 8 300 t）
設計・監理：㈱日建設計（構造・設備設計協力：㈱竹中工務店）
施　　工：㈱竹中工務店
完　　工：2016年8月
特　　色：建築主：㈱朝日新聞社・㈱竹中工務店
「水都」大阪を象徴する中之島エリアに「中之島フェスティバルタワー」に続き「中之島フェスティバルタワー・ウエスト」が，ツインタワーとして2017年春に竣工。地下4階・地上41階，高さ200 mの高層複合ビルである。4階には文化交流施設として「中之島香雪美術館」と「中之島会館」が入り，「中高層階は天井高3 m，1フロア820坪の無柱空間オフィス」となり，33～40階の高層階には国際級ラグジュアリーホテルの「コンラッド大阪」が入る。スーパー制震構造の採用等，国内最高水準の耐震性能とBCP対応力を有した「地震に強いビル・災害に強いビル」を実現している。川田工業㈱は鉄骨製作・建方共に参画を行い，製作・現場施工には当社の技術が活かされている。

◀学校法人常翔学園　大阪工業大学梅田キャンパス

所 在 地：大阪府大阪市
鋼　　重：8 650 t（当社製作分 1 900 t）
設計・監理：服部・安井・石本設計監理共同企業体
施　　工：西松建設㈱
完　　工：2016年10月
特　　色：学園創立100周年に向け大阪一のビジネス拠点梅田・茶屋町に建設された地下2階，地上22階建て，高さ125 mのタワーキャンパス。梅田キャンパス（愛称・OIT梅田タワー）では先進的な『ロボティクス＆デザイン工学部』が誕生し，将来的には1200人規模の学生・院生の研究の場となる。構造的な特徴としては制震壁，ブレースダンパー，増幅機構付き減衰装置を設置し，高い耐震性能を確保している。

▶名駅三丁目27番地区開発計画（大名古屋ビルヂング）

所 在 地：愛知県名古屋市
鋼　　重：20 700 t（当社製作分　3 800 t）
設計・監理：㈱三菱地所設計
施　　工：清水建設㈱
完　　工：2015年12月
特　　色：約半世紀にわたり名古屋駅前のシンボルとして地元の人々に親しまれてきた歴史ある旧建物名称「大名古屋ビルヂング」を継承し，名古屋駅前の新たなランドマークとして国際的・広域的な業務拠点を形成する商業施設兼オフィスビルである。名古屋の街に潤いを与えるように「緑の丘に立つ大樹」をデザインコンセプトとし，低層部の屋上を緑化して市民に開放（スカイガーデン）するとともに，タワー外装はまっすぐ空に伸びる大樹の幹と葉や枝の重なりを表現したデザインになっている。低層の外装は商業施設のきらめきと華やかさを表現するクリスタルをイメージしている。

◀世田谷区尾山台（せたがや おやまだい）３丁目計画新築工事

所 在 地：東京都世田谷区尾山台
構　　造：RC 造　地上６階建
延床面積：2 682 ㎡
発 注 先：三菱地所レジデンス㈱
完　　工：2016 年９月
特　　色：高台にあって，時・街・空間をやわらかくつなぐことをコンセプトに，水平ラインを強調した外観デザインとなっている。
高級感を漂わせるダークトーンの外壁，そして白を基調とした水平ラインとバルコニーのガラスがつくる軽やかさと上質さが表現されている。
自由が丘と寄り添う，「尾山台」駅徒歩４分の地に誕生。

▶富山県立高岡工芸（たかおかこうげい）高等学校 機械棟改築工事

所 在 地：富山県高岡市
構　　造：RC 造　一部鉄骨造　地上３階建
延床面積：2 087 ㎡
発 注 先：富山県
完　　工：2016 年３月
特　　色：本校の機械科及び電子機械科の実習を行う建物である。内部には実習室以外に，コンピューター室・被服実習室・調理実習室等が配置されている。
既存の電子機械棟と接続した一体感のある実習棟となっており，またデザイン棟と渡り廊下で接続することにより，管理棟・建築電気土木棟・デザイン棟の全てが連結され，生徒の動線も簡略化されている。
外観は各実習棟と統一感を出す為に基本デザインを共通化し，１階の塗装色は同一として，上階は各実習棟別にグラデーションをつける様に徐々に淡い色としている。
（富山県建設優良工事表彰　土木部長賞受賞）

◀独立行政法人国立病院機構 北陸（ほくりく）病院病棟等建替整備工事

所 在 地：富山県南砺市
構　　造：南病棟　RC 造　地上４階建（5 357 ㎡）
西病棟　RC 造　地上２階建（3 923 ㎡）
スタッフ棟　RC 造　平屋建　（887 ㎡）
延床面積：10 167 ㎡
発 注 先：独立行政法人国立病院機構北陸病院
完　　工：2015 年７月
特　　色：北陸病院の建て替え計画。
南病棟は，１階：認知症病棟，２・３階：精神病棟，４階：リハビリ施設となっており，西病棟は，１階：障害者施設等，２階：特殊疾患病棟となっている。
北陸における精神・神経領域の基幹施設として，精神疾患・神経難病並びに重症心身障害に関する専門医療を行っている。

▶㈱マクシスコーポレーション
鋼材物流センター新築工事

所 在 地：栃木県佐野市
構　　造：鉄骨造　平屋建（システム建築）
延床面積：5 739 ㎡
発 注 先：㈱マクシスコーポレーション
完　　工：2016 年3月
特　　色：本建物は，佐野田沼インター産業団地内に建設した平屋建の自営倉庫及び事務所である。
合計 13 台の天井走行クレーンや，切断機等の機械レイアウトと共に，作業の流れや動線から建物の形状と柱の間隔を計画した。

◀横浜第３フレッシュセンター
新築工事

所 在 地：神奈川県横浜市
構　　造：鉄骨造　２階建（システム建築）
延床面積：3 344 ㎡
発 注 先：横浜丸中青果㈱
完　　工：2016 年3月
特　　色：本冷蔵倉庫は，横浜市南部市場内に建設した一部２階建の事務所を併設した冷蔵倉庫である。
冷蔵倉庫部分の床面積は，約３ 158 ㎡（955 坪）であり，システム建築の特徴をいかした大空間を構成している。
本計画は，庫内温度を＋ 10 ℃で設定しており，野菜の搬入，仕分け，搬出の作業を行っている。

▶大塚倉庫㈱袋井３号倉庫
増築工事

所 在 地：静岡県袋井市
構　　造：鉄骨造　２階建（システム建築）
延床面積：6 442 ㎡
発 注 先：大塚倉庫㈱
完　　工：2016 年4月
特　　色：本倉庫は，静岡県袋井市の工場敷地内で駐車場に使われていたスペースを利用して２階建の倉庫を建設した。
倉庫内は防火区画の壁を免除し，各階の梁下の有効高さも 6.0 m としており，自由度の高い空間となっている。
また，外壁はＫ．ウォールで，中央の帯を境に指定色で色分けし，工場敷地内の他の建物と一体感を出している。

▶ 2015 国際ロボット展

開催場所：東京ビッグサイト
開 催 日：2015 年 12 月2日～5日
特　　色：本展示会では，NEXTAGE がコンベア上を流れる飲料パックをピックしての箱詰め作業，台座下部に搭載した省スペースの移動台車や複数のサイズのモノをつかめる汎用ハンドなど，いわゆる三品業界や物流など，新たな分野への展開をイメージさせるデモを行った。
また，NEXTAGE 専用ソフト NxProduction のミニ講習会エリアや，カワダのヒューマノイドロボット技術の原点であるヒューマノイド HRP シリーズも展示し，４日間を通じて従来にも増して多くの来場者に「カワダのロボット」を印象付ける展示会となった。